

暁木会会員 各位

平成 16 年 9 月

神戸大学暁木会

平素は、暁木会活動にご支援とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、このたびの暁木会ニュース第7号では、事務局から「暁木会平成15年度総会」、「年会費納入のお願い」、「名簿全面改訂版発行」、「暁木会各支部総会」、のお知らせをして、土木教室主任の藤田一郎教授に「神戸大学と土木教室の近況」を報告して戴きました。

不十分な点多々あることと思いますが、ご容赦をお願いしますとともに、ご意見等がございましたら、事務局までご連絡くださいますようお願い致します。

平成16年度の暁木会役員は、つぎの通り改選されました（新旧併記）。

役名	平成15年度	平成16年度	備考
会長	本下 稔 ⑮ (協和設計株)	本下 稔 ⑮ (協和設計株)	留任
副会長	丹原 利夫 ⑳ (大昭建設)	水池 由博 ㉑ (神戸市建設局)	新任
副会長	岩田 修三 ㉒ (兵庫県県土整備部)	岩田 修三 ㉒ (兵庫県県土整備部)	留任
KTC 理事長	宮永 清一 ㉓ (日下部建設株)	—————	—
KTC 副理事長	—————	池野 誓男 ㉔ (堺泉北埠頭株)	新任
KTC 理事	豊田 茂男 ㉕ (日本海工株)	—————	—
KTC 理事	池野 誓男 ㉔ (堺泉北埠頭株)	松下 緯宏 ㉖ (神戸市)	留任
KTC 理事	松下 緯宏 ㉖ (神戸市)	梶谷 義昭 ㉗ (エ・アール・エ・イワネ株)	新任
常任 幹事	尾原 勉 ㉘ (兵庫県県土整備部)	尾原 勉 ㉘ (兵庫県県土整備部)	留任
常任 幹事	油井 洋明 ㉙ (神戸市北区役所)	油井 洋明 ㉙ (神戸市北区役所)	留任
会計 幹事	坪本 正彦 ㉚ (協和設計株)	坪本 正彦 ㉚ (協和設計株)	留任

1. 暁木会平成15年度総会について

開催日時 平成16年3月24日(水)

場 所 楠公会館

出席者数 大学；田中茂名誉教授他；22名、卒業生及び修了生；71名、正会員；51名、支部代表；4名、合計；148名

議 案

(1) 会務報告

平成15年度暁木会行事及び会員数の動向、物故者の報告を行い、承認されました。

会員数(平成16年4月1日現在)

卒業・修了者 3,933名、物故者 659名、
会員数 3,274名

(2) 役員改選

暁木会の役員は、丹原副会長が任期満了に伴い退任し、水池副会長が就任しました。他の役員は留任しました。

また、KTC役員は5月のKTC総会で、宮永理事長、池野常任理事、豊田理事が任期満了となり重責を退任され、新たに梶谷理事が就任しました。なお、前池野常任理事は副理事として再任、松下理事は留任されました。

(4) 会計報告

平成15年度各会計決算(案)及び平成16年度各会計予算(案)について審議され、いずれも原案どおり承認されました。

※ 神戸大学の近況報告並びに平成15年度修了、卒業生の進路が紹介され、総会に引き続いて、新会員の歓迎を兼ねて懇親会を開催しました。

2. 暁木会年会費納入のお願い

平成 15 年度から導入いたしました年会費につきましては、昨年度は 625 名の会員各位にご理解とご協力をいただきました。本誌を以って、感謝とお礼を申し上げます。

しかしながら、暁木会の安定した運営を行うためには未だ十分ではありません。会費納入の手続きが未了の会員各位には、引き続きご理解とご協力をお願い致します。

手続き等に関する問合せは下記までお願い致します。

暁木会事務局；協和設計株式会社
〒567-0877 大阪府茨木市丑寅 2-1-34
設計部 坪本正彦
Tel 072-627-9351, Fax. 072-627-9357
E-mail: tsubomoto@kyowask.co.jp

〒650-0042 神戸市中央区波止場町 3-4
神戸支店営業推進部 藤原政毅
Tel. 078-393-2011, Fax. 078-393-2012
E-mail ; fujiwara@kyowask.co.jp

3. 名簿発行について

今年は、暁木会会員名簿の全面改訂版の発行年となっております。事務局では、既に会員各位宛に名簿記載内容の確認書を送付し、平成 16 年 12 月の発行を目標に鋭意その準備をしております。

なお、会員名簿改訂版は、会費納入会員にのみ発送することになっています。会費納入の手続きが未了の会員の方につきましては、早急に手続きをして戴きますようお願い致しますとともに、手続き等に関するお問い合わせは上記事務局までお願い致します。

4. 暁木会支部総会について

- (1) 暁木会東京支部総会（平成 16 年 6 月 11 日）
支部長 梶 太郎^⑨，副支部長 池田正和^⑩
大学から宮本仁志助教授，暁木会本部から岩田副会長が出席
- (2) 暁木会広島支部総会（平成 16 年 7 月 30 日）
支部長 二神種弘^⑮
大学から田中泰雄教授，暁木会本部から本下会長が出席
- (3) 暁木会東海支部総会（平成 16 年 7 月 27 日）
支部長 徳倉哲夫^⑰，副支部長 佐藤仁之^⑱
大学から藤田一郎教授が出席
- (4) 暁木会岡山支部総会（10 月末に開催予定）
支部長 吉井節夫^⑳，副支部長 西垣 誠^㉑

5. 神戸大学と土木教室の近況

平成 16 年度教室主任 藤田一郎

1. 全学ならび工学部の情勢

本学は、本年度 4 月 1 日より、国立大学法人神戸大学としての新しいスタートを切りました。これに伴って神戸大学はあらゆる面で競争的な環境下におかれ、経済的にも自立した運営を迫られることになったわけですが、実際にスタートしてみますと、想像以上に厳しい船出であることが実感されます。特に、教育研究の経費は自らの力で獲得すべきものという学長の方針を反映してか、予算配分は非常に緊縮されたものとなり、土木コースの当初予算は異例のマイナス配分からのスタートとなりました。このような状況下、工学部では新工学部長（薄井洋基教授，応用化学科）のもとでユニークなものを含めて様々な改革案が提案され、実施に移されてきています。PFD ファイルの事前配布によるペーパーレスの教授会，全教職員へ胸名札の配布と携帯の励行，肥大化した図書経費の見直しなどが

それです。一方、工学部の運営については、これまでの教授会が中心の体制から運営会議が執行部となって重要事項を迅速に決定していく体制へ9月から移行することが決まりました。このような改革は一般企業では当たり前のように行なわれてきたことだと思いますが、遅蒔きながらようやく大学も自立するための自助努力を行なうに至ったと言えます。いずれにしても、これからの大学は学外との連携なしでは生き残れないのは確かなことであり、同窓諸兄のこれまで以上の協力をお願いしたいと存じます。

2. 土木系教室の動向

土木系教室では、4月より新しく迎え入れた澁谷教授をはじめとする総勢39名の教職員、事務員で独法化を迎えました。予算不足には閉口しながらも、新たな年度を何とか乗り切っていくと教育・研究に取り組んでいるところです。教育面ではJABEE審査に向けての本格的な作業が始動し、例えば初めてのピアレビュー（教官相互による授業参観・評価）を実施しております。学生による授業評価も行っており、これらを合わせて各教員の講義内容の改善をはかる努力がなされています。土木系教室として本年度から新たに実施するものに、大学院前期課程の推薦入試（6月25日実施）があります。これは、広く学外から優秀な学生を受け入れるための入試であり、若干名を受け入れることになっております。その後も偏入学試験や本試験など多様な受験機会を設けております。また、先日行なわれた育友会の席では、ある保護者から神戸大土木のパンフレットは私立大学のものと比べると格段に劣っているとの指摘を受け、優秀な学生を集めるためのより一層の努力の必要性を痛感したところです。就職状況に関しては、大手企業についてはほぼ順調な就職状況を保っていますが、まだまだ迷っている学生も多く、卒業生の皆様の多大なるご支援をここにお願い申し上げます。

なお、本年4月1日付の教職員の異動は以下の通りであります。

- ・澁谷啓教授（北海道大学助教授より建設学科構造工学講座へ）
- ・宮本仁志助教授昇任（建設学科助手より建設学科地域環境工学講座へ）
- ・鍛田泰子助手着任（建設学科社会環境工学講座へ）
- ・長江剛志助手着任（京都大学防災研究所よりCOE研究員として）
- ・山本和宏助手退職（静岡県庁へ）
- ・ラダンイヴァノヴ助手退職（母国へ）

以上の異動を含めて現在の土木系教室（都市安全研究センターの関連部門を含む）の教員構成は以下の通りとなっております（平成16年6月25日現在、斜線は定員無し）。

通 称	教 授	助 教 授	助 手
C-1	北村 泰寿	芥川 真一	
C-2	高田 至郎	森川 英典	鍛田 泰子
C-3	道奥 康治	宮本 仁志	
C-4	澁谷 啓	飯塚 敦	河井 克之
C-5	藤田 一郎		神吉 和夫
C-6	黒田 勝彦	竹林 幹雄	井料 隆雅
C-8	中山 昭彦		ジェレミーブ リッカー
C-9	朝倉 康夫	富田 安夫	長江 剛志
C-10	川谷 充郎		野村 泰稔
TA-1	沖村 孝		鳥居 宣之 上西 幸司
TA-2	田中 泰雄	吉田 信之	
TA-3	川谷 健		齋藤 雅彦
TA-6		加藤 正司	